

製品名: SGSM1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02595**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB, ICC/IF |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.68mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200 |
| 分子量 | Calculated MW: 130 kDa; Observed MW: 130 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|------------------|
| 遺伝子名 | SGSM1 |
| 別名 | RUTBC2 |
| 遺伝子 ID | 129049 |
| SwissProt ID | Q2NKQ1 |
| 免疫原 | ヒト SGSM1 の合成ペプチド |

背景

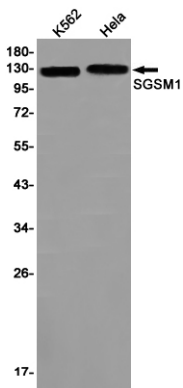
多数の Rab ファミリーメンバーと相互作用し、一部のメンバーに対しては Rab エフェクターとして、他のメンバーに対しては

GTPase アクティベーターとして機能する。RAB34 および RAB36 による GTP 加水分解を促進する。RAB9A および RAB9B とは GTPase エフェクターとして機能すると考えられるが、RAB9A および RAB9B との GTP 加水分解は促進しない。

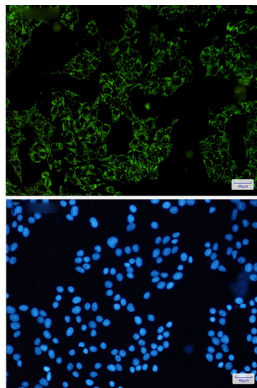
研究分野

シグナル伝達

画像データ



SGSM1 抗体を使用した K562、Hela 溶解物中の SGSM1 のウエスタン プロット分析。



SGSM1 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の SGSM1 (緑) の免疫細胞化学分析